



UTO から世界へ！ 第28号

グローバル講演会「トビタテ！宇土中高生」

11月19日実施

文部科学省トビタテ！留学 JAPAN エグゼクティブアドバイザーの船橋力氏をお迎えして、グローバル講演会を実施しました。



大人を信用するな

変化を楽しむ

失敗おめでとう！

日本のテレビはほとんどが日本の情報で、色んな局で同じ情報を何回もやってるから、最後の質問のときに仰っていた外国の情報を見れるアプリが今のところないから、やっぱりそういう面でも英語が必要になってくるんだなと思いました。(中1)

トビタテ！留学 JAPAN とは

- 返済不要の奨学金
- 成績・語学力不問
- 留学プラン自由(14日間～1年間)

宇土中高
推奨

一番心に残ったキーワードは、『コンフォートゾーンを出る!』です。これまで私は、新しいことにどんどん挑戦することが少なかったのが、今回『コンフォートゾーンを出る』ことや、トビタテ留学のことを知って、今までやってこなかった経験をしたと思うことができました。これから、海外のことについて調べたり、新しいことに挑戦したいと思います。船橋さん、本当にありがとうございました。(中1)

好きや違和感を持つことや、やりたいことがあることはとても幸せというのが響きました。(中2)

生徒の感想

将来の夢を聞かれるたびに困っていたのですが、夢・やりたいことは、簡単に見つからないという言葉が心に残りました。自分の可能性を広げる、やりたいことを見つけるために留学という選択肢があることを知り、とても興味を持ちました!(中2)

私は親によく外に出なさいと言われていて、留学したら考えが変わるんじゃないと何回か言われていたので、視野には入れていたんですけど、正直海外に行くのは不安で仕方なかったので行くのはちょっとと拒んでいました。ですが今回の船橋さんの講演を聞かせていただいて、住む場所、時間配分、関わる人、これを変えることで新たな発見ができるおしゃっていて、自分を変えるためには実行やチャレンジが必要だということに気付かされて、留学も視野に入れようと思いました。(中3)

私は「打席に立つ数」と「好きと違和感」という言葉が一番印象に残りました。私にはまだ打席に立つ数(経験、出会う人、挑戦)が少ないと思うので、これから残り少ない中学校生活や新しい仲間と過ごす高校生活で増やしていきたいと思いました。(中3)

留学はする勇気がないけれど、今自分がいる場所でコンフォートゾーンを出ることができるような努力をしていきたいと思いました。また、人生を「新しい旅」と思うことで、変化を楽しむ、変化に柔軟であるような人になりたいです。(高1)

自分が思っている違和感などが把握されている気がして共感でき、船橋さんの意見がわかりやすくこれからの人生に役立てるといふか、今からどうやって過ごして理想の自分になっていくのかが、目に見える感じで以前は見えなかった自分の進路がめっちゃ明るくなりました!めっちゃいいお話でした。ありがとうございました。(高1)

私が一番印象的だったのは失敗ありがとうございましたという言葉です。課題研究などの中で、失敗したらどうしよう、過程を間違えたらどうしようと考えてしまいがちでしたが、失敗はありがとうございましたという言葉聞いて、これから受験勉強をしないといけな時期になっても気楽になって考えすぎずに勉強できるなと思いました。(高2)

お金のことや自分の英語力のことなどを考えると留学は諦めるしかないと思っていたけれど、留学について一度考えてみるのもいいかもしれないと思いました。今回の講演では共感することや新たな学びを得ることがたくさんあったので、留学をしてもしなくてもとてもいい機会になったと思います。(高2)

最初は大人を信用するなという言葉聞いて、少し驚いたけれど、これから時代が変わっていくことに加えて、大学生になったら自分で決めていかなければいけないことも増えていくと思うので、自分で決めていく癖をつけていきたいと思いました。(高3)

日本が情報鎖国であるということを知って、そのとおりだなと思ったし、日本の人はマスコミの情報を全てだと思って他の情報を得ようとしていないのかなと思いました。今回の留学の講演を一年生のときに聞いていれば高校での留学もあったのかなと思いました。(高3)

